

2021年11月25日

関係各位

省エネルギー推進委員会
省エネルギー幹事委員会

今冬における省エネルギーへの取組について

今般、文部科学省より「冬季の省エネルギーの取組について（令和3年11月5日付）」の依頼がありました。文部科学省からは数値の目安を伴う節電要請はありませんが、昨年度法人全体のエネルギー使用量の1%削減目標を達成することが出来ませんでしたので、本年度も下記の要領にて、より一層の節電に取り組むことになりました。皆様のご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

記

- ① 本法人の目標値は昨年度の最大電力の実績値以下としていますが、2020年度は新型コロナウイルスによる学生の登校禁止等、感染拡大防止に伴う特別対応があり、コロナ禍以前の一般的な使用に基づく数値が得られなかったため、2019年度の最大電力実績値から目標値を設定します。

ただし、北キャンパスと高槻中学校・高等学校においては、最大数値を記録した2020年度の実績を基に目標値を設定します。

最大電力を抑制することは節電の意識の向上に繋がり、省エネの有効手段になります。

- ・本部キャンパス 4,100 kw 以下（関西BNC T共同医療センターを除く）
- ・阿武山キャンパス 870 kw 以下
- ・北キャンパス 243 kw 以下
- ・高槻中学校・高等学校 266 kw 以下
- ・三島南病院 448 kw 以下

- ② 病院については、事務部門と間接部門（直接、診療に関わらない医局や会議室等を指す）において、積極的な節電に取り組めます。

以上

*注意

・本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、特にマスク等着用が増えていますので、行き過ぎた節電により熱中症や事故等を生じないように、くれぐれもご配慮ください。

・大規模な停電や想定外の気温の低下に伴い、電力需給のひっ迫による節電要請があった場合には別途、節電の協力を依頼します。

*省エネルギー推進委員会のホームページ

電力使用状況を毎週更新していますので、是非ご覧ください。

省エネルギー推進委員会HP：<https://www.omp.ac.jp/eco/>

今冬における省エネルギーに関する具体的な取組

キャンパス		取組内容	各削減電力量
本部 キャンパス	大学	<u>1. 総合研究棟</u> ①エレベーター（各階停車用1台） ＊新型コロナウイルス感染防止対策として、エレベーター籠内が密にならないように常時運転中。 →階段使用啓発チラシ掲示済み ②各室内のエアコン温度設定 20℃厳守	1-①. 約 15kwh 1-②. 約 1～4kwh/台
		<u>2. 新講義実習棟</u> 5～7 階：各室内温度を 20℃厳守	2. 約 1kwh/台
		<u>3. 本館・図書館棟</u> ①エレベーター（各階停車用1台） ＊新型コロナウイルス感染防止対策として、エレベーター籠内が密にならないように常時運転中。 →階段使用啓発チラシ掲示済み ＊新型コロナウイルス感染防止対策として 空調機運転中。	3-①. 約 15kwh
		<u>4. その他</u> ①各部署における節電 ②照明関係 現在、省エネで実施している消灯を継続	
	大学 病院	①各部署での節電 ②省エネ実施中による照明消灯（病院全館） ※診療に差し支えない範囲で節電を実施	②. 約 3kwh

阿武山キャンパス	①ウォームビズを啓発し、エアコン 20℃設定を徹底する ②不在不使用時の照明・エアコン・OA 機器の消灯または停止を徹底する ③パソコンを省エネモードに設定する ④省エネ実施中の消灯を継続 ※三島南病院、健康科学クリニックにおいては診療に差し支えのない範囲で節電を実施	①. 約 1～4kwh/台
北キャンパス		
高槻中学校 ・高等学校		
三島南病院		
健康科学 クリニック		

※参考

- ①エレベーターを使用せずに階段を利用した場合は、1回につき約5円の削減になります。
健康のためにも3フロアの移動は階段を利用してください。
- ②エアコン1台を1時間停止した場合、約1～4kwの削減となります。
大学病院1号館4階休憩室の場合は、約2kwのエアコンを3台設置しています。
設定温度の上げ過ぎによりエアコンが仮に5時間フルパワー運転になった場合、1日につき約500円の使用料金の増加になります。

お問い合わせ先：総務部施設課電気室 内線 2237